

決 議

北陸新幹線は、日本海国土軸の形成や東海道新幹線の代替補完機能を確保するための重要な国家プロジェクトであり、国家的見地からも最優先に整備が図られるべき路線である。

また、高速交通体系の柱として、国土の均衡ある発展に寄与するとともに地域経済と地方の活性化に大きく貢献するものであり、福井市の発展にとっても必要不可欠なものである。

現在、平成26年度末の開業を目指して長野・金沢間が整備されているが、福井市では、平成21年2月に福井駅部が完成したものの、福井県内の区間認可がなされていないため、「線」としての整備には至っていない状況である。

未着工区間の取扱いについては国でも、本年夏を目途に検討が進められているところであるが、福井市民の長年の悲願である、北陸新幹線の福井開業が一日も早く実現するよう、次の事項について強く要望する。

記

- 1 白山総合車両基地から敦賀間について、平成22年夏までのできる限り早い時期に認可決定し、早期着工、早期開業を図ること。
- 2 福井駅周辺における都市計画事業の進捗に支障がでないよう、完成した福井駅部の工事から連続して整備を実施すること。
- 3 新九頭竜橋（仮称）は難工事事業として、隣接して並行する道路橋と一体的に早期の整備を図ること。
- 4 森田北東部及び市場周辺土地区画整理事業により確保した新幹線用地を早期に取得すること。
- 5 公共事業費の重点配分、貸付料の活用などにより、積極的な事業推進が可能となるよう、建設財源の確保を図るとともに、地方負担については適切な財源措置を講じること。

以上、決議する。

平成22年5月26日

福井市北陸新幹線建設促進協議会